

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 29日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県河内郡上三川町上蒲生2500

氏 名 日産自動車株式会社 栃木工場

工場長 菊池 英司

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0285-56-1246 (生産技術部 設備・安全グループ)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 10 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日産自動車株式会社 栃木工場
事業場の所在地	栃木県河内郡上三川町上蒲生2500
計画期間	令和 5年 4月 1日～令和 6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	〔3 1 1〕自動車・同部品製造業
②事業の規模	製造品出荷額 2,107億円/年
③従業員数	4,402人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	排出量	別紙3（特管）のとおり	t
	(これまでに実施した取組) ・分別による排出量の抑制。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	排出量	別紙3（特管）のとおり	
	(今後実施する予定の取組) ・分別精度向上による排出量の抑制。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃塗料のドラム缶による分別。		
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・定期的な成分分析で分別の確実性を確認する。		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	別紙3（特管）のとおり	
（今後実施する予定の取組）			

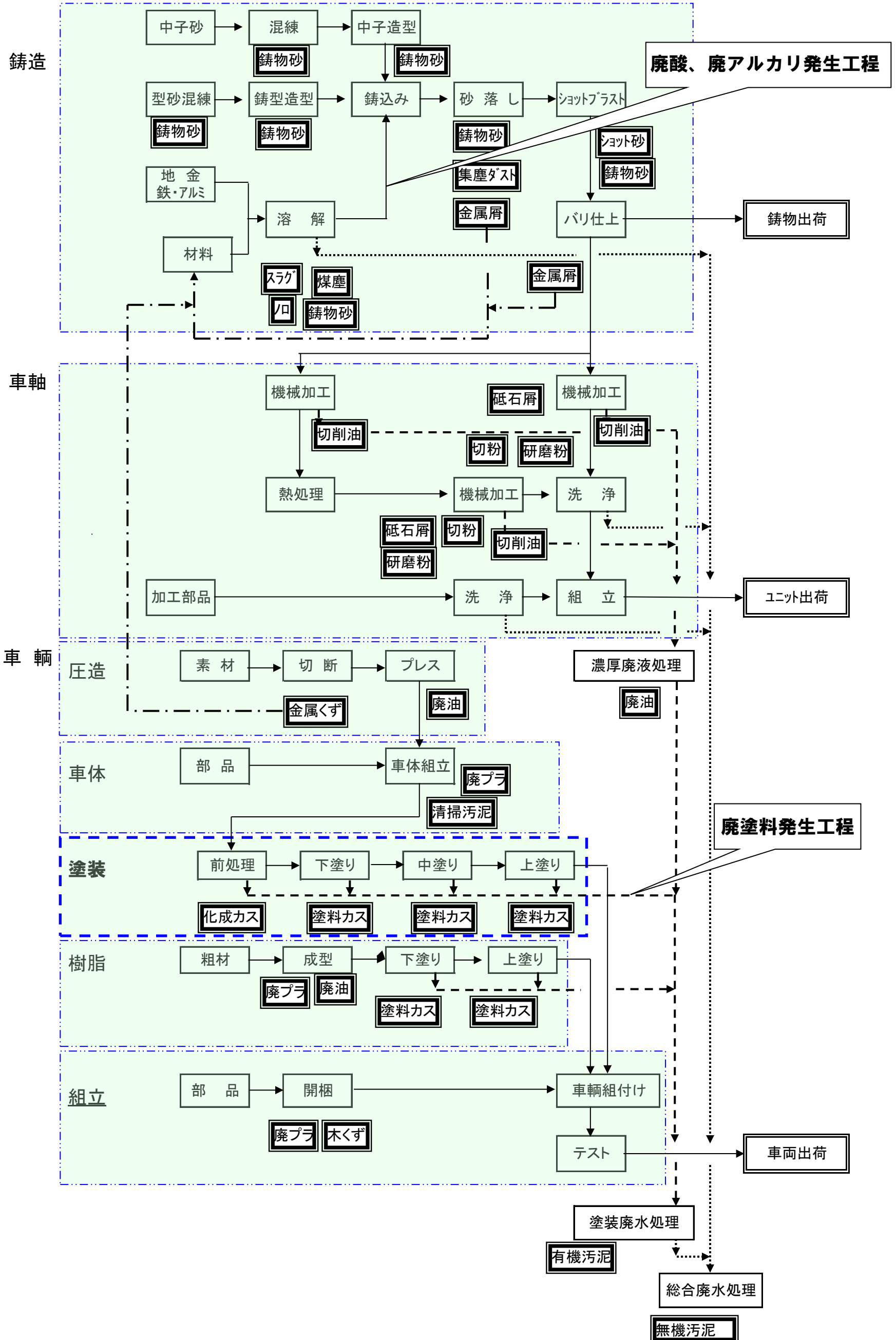
自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙 3（特管）のとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	別紙 3（特管）のとおり	
	（これまでに実施した取組）		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙 3（特管）のとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	別紙 3（特管）のとおり	
	（今後実施する予定の取組）		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙 3（特管）のとおり	
	全処理委託量	別紙 3（特管）のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙 3（特管）のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙 3（特管）のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙 3（特管）のとおり	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙 3（特管）のとおり	
	（これまでに実施した取組）		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃塗料のサーマルリサイクル化 ・ 廃石綿の電気溶融により路盤材へのリサイクル化 			

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙3（特管）のとおり	
	全処理委託量	別紙3（特管）のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3（特管）のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3（特管）のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3（特管）のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3（特管）のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃塗料のサーマルリサイクル化の確実な実施		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		43.3 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記同様の取り組み。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

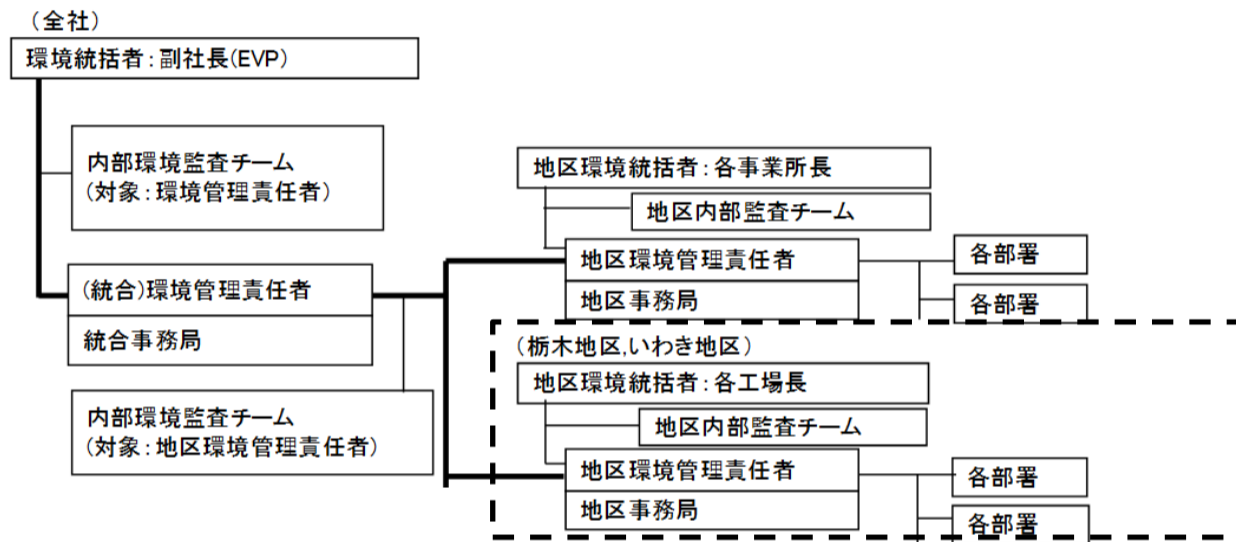
製造工程と産業廃棄物の発生処理フローシート



＜産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項＞
管理体制図

統括責任者	所属：栃木工場		職名：工場長
廃棄物担当	組織名：日本生産事業本部 生産技術部 設備・安全グループ		職名：課長
	組織人数：3人		
役割	工場環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 ○廃棄物の発生抑制、再生、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討承認する。 ・委員長－工場長 ・委員－各部部長 ・事務局－ISO14001ゼロエミ事務局 生産技術部 設備・安全グループ 	
	廃棄物処理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各事項の決定、承認 	
	廃棄物管理担当課長	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する環境教育・啓発 ○その他関係する事項（各廃棄物削減活動の推進など） 	

廃棄物管理組織
(環境マネジメントシステム)



別紙3(特管)

R5 目標	単位: t/4
R4 実績	

排出・処理の区分	種類	引火性廃油 (廃塗料)	引火性廃油 (混合廃油)	廃酸	廃アルカリ	廃石綿
		①排出量	40.2	10.0	20.0	70.8
		41.0	0.0	0.0	72.2	4.8
②自己直接再生利用量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
③自己熱回収量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
④自己中間処理減量化量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
⑤自己直接埋立処分量又は 海洋投入量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
⑥全処理委託量		40.2	10.0	20.0	70.8	4.7
		41.0	0.0	0.0	72.2	4.8
⑦優良認定処理業者への 処理委託量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
⑧再生利用業者への処理委託 量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
⑨認定熱回収業者への処理委 託量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0
⑩認定熱回収業者以外の熱回 収を行なう業者への処理委託量		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0